学校便りNo.7

南山の風

令和６年１１月29日（金）
糸満市立高嶺中学校　校長

集団生活で学びました

二学年修学旅行

10月30日から11月1日の日程で修学旅行を実施しました。コロナ禍後の県外実施が昨年に続いて２回目となりました。

初日は早朝の那覇空港で集合でした。参加予定者全員揃い無事に飛行機に登場できました。以後の旅行行程中所定の時刻に遅れる生徒はおらず、時間に守ろうとする意識が身についていることを確認できました。

福岡空港からバスで長崎市内に直行。原爆資料館で被ばく当時の惨劇を目の当たりにしながら、平和について学びました。大人に成長する過程で、広く平和について考えるきっかけの一つにしてほしいと考えています。

続いては班別自主学習には数名で班を組み、事前に計画した見学ルートを巡り、長崎の地理、歴史、文化などに触れました。自分たちが暮らす沖縄県との違いが見つけられたでしょうか。現地でしかた、班員同士で協力し、合体験できない貴重な学びとなったと思います。

目的を達成するための心がけやマナーについて実践し学ぶ場となったことでしょう。

二日目はグリーンランドで班ごとの自由活動です。大型遊園地で友達と大切な思い出作りをします。昼食も自由にとります。一緒に行動する中でみんなが楽しく過ごせるよう気遣いなども学んだのだろうと考えます。

ホテルでは演芸大会を行いました。自分たちで結成したチームが任意出演するものです。どのチームも楽しそうに、そして真剣に発表しました。みんなの笑顔と歓声で会場中がとても良い雰囲気でした。羽目を外す事もありましたが、盛り上がりに包まれ、意外と気持ちよく過ごせました。

最終三日目、太宰府天満宮を参拝しました。歴史と文化に直に触れる体験となりました。合格祈願、お守りをする人が見られました。様子がいつもとは変わりました。先生方の臨機応変な対応により無事に日程を終えることができました。

生徒全員の協力によって、ここまで成長過程でこれまで身に付けた修学旅行としての環境学習の場であり、貴重な体験学習の場でもあります。普段の生活から離れて行われる修学旅行は、教育活動を高める目的で、連携会議を開催しました。合同研修、連携した行事の開催、日常の児童生徒指導について課題の共有も含めて協議しました。話合いの結果を次年度の実践に活かしていきます。

より良い指導のために

11月14日、小学校の先生方と両校の教育活動の効果を高める目的で、連携会議を開催しました。合同研修、連携した行事の開催、日常の児童生徒指導について課題の共有も含めて協議しました。話合いの結果を次年度の実践に活かしていきます。

英語でチャレンジ

10月31日、二学年総合的な学習の時間で「街角イングリッシュクエスト」を実施しました。地域の活動を行いました。英語を話す人を再認識しました。企業から派遣されたミュージカル英語教育盛り込みました。英語体験を通して、ミュージカルに向けて、英語取り組む活動に今回は上演に向けて、チームで協力し合いながら疎通を図りました。ミュージカルは、英語の課題を加味した国際的な舞台です。

私たちは、「英語を話しないでも楽しく英語が苦手でも楽しい！」をキャッチフレーズに、英語を撮影したり、英語のクイズを作ったりして、英語を使う機会を作りました。

伝統文化に触れる

10月31日、一学年は総合的な学習の時間で国立劇場おきなわを訪れ、組踊について学びました。

前半は案内の職員による組踊の楽しみ方やルール、使用する楽器の紹介があり、組踊の歴史などもクイズ形式で紹介され、はじめて知る組踊の世界に魅かれたようです。

組踊の台詞の音の数が８，８，８，６であることや言い回しには独特のリズムと旋律があること。登場人物の性別や年齢によって台詞の唱え方が変わること。また、登場人物の気持ちをより深く表現する手段として音楽を用いることなどについて学びました。

後半は実際の演目「万歳敵討」を鑑賞しました。生の舞台で表現の豊かさや演技の迫力を感じたようです。

見学後の生徒からは「初めて組踊を見て楽しみ方が分かった。家族に話して見に行きたいです。」「まだまだ沖縄、琉球王国のことを知らないのでもっと学べるようにしたいです。」などの感想が寄せられました。価値ある体験になったことだと思います。

性の多様性を学ぶ

11月13日、全校生徒を対象にLGBTQ講演会を開催しました。性の多様性の現状を知り、相互理解の幅を広げることが目的です。

講師はNPO法人レインボーハートokinawa竹内清文様。これまでに講演をされた300以上の学校で講演をされてきたその学校で、自身の体験を紹介しながら自分が心地よくいられることが自分らしくいられるということ、周りと違っていることは当たり前であることなどを楽しく語り口で教えてくれました。そのうえで、自分と違う周りの人を大切にしようと思いました。

今は自分がどうなのか分からなくてもいい、今決めなくてもいいんだ。不安があれば信頼する人に是非相談しよう。と励ましと助言をいただきました。「そこに安心がなければ、お互いに助け合うことはできない。」と人と人との関係作りに互いの安心が欠かせないとお話しされました。これからの社会に生きる中学生にとって貴重なお話となりました。

生徒代表のお礼のことばには「周りと違っても大丈夫だと思うことが大切だということが分かりました。」と自分なりの学びがうかがわれました。また「多様性を大切にする社会にするためには私達に何ができるのか考えていきたいです。」と前向きな姿勢を示してくれました。

12月行事予定

12月	６日　金	生徒会役員選挙
	１０日　火	給食指導（食品ロス）～12日
	１８日　水 ～２０日　金	三者面談
	２４日　火	大掃除
	２５日　水	２学期終業式

感染症を予防しましょう！

裏面もご覧ください。

カラー版は本校ホームページにてご覧いただけます。

裏面もご覧ください。

カラー版は本校ホームページにてご覧いただけます。

自分たちで作りました

11月19日高嶺祭が開催されました。生徒会が主催、運営すると受け継いでいきたいものです。前年度生徒会から学級、学年の中をより深めることを作り上げることを学び、協働することを成感を味わう行事にすることをねらいに掲げています。

午前に行われた第一部は舞台前の部。任意の個人、団体が審査を経て出演者達はその映像を発揮し、一部は会場の個性を生かした体育館内で一体となって盛り上がりました。11月29日の島尻地区音楽発表会に全員で参加する三年生は先生方の伴奏もあり、合唱披露されました。学校生活の絆がより深まったこと、と思います。

午後の第二部では、スポーツ大会を中心に、ウンドウ運営を使っての計画・競技・ルール・ルールを生徒会が主催し、雨天時には体育館内で競技を行うなど、状況に応じて変更しました。

そして、当日の天候は、雨にもかかわらず、生徒たちは、ルールを守り、競技に参加し、応援や、ゲームを楽しんでいました。

同時に、若い生徒たちは、エネルギーに満ちあふれていました。

感謝の気持ちを、懸命に、思いを、力を、発揮できるように、散歩、ストレッチ、ラジオ体操、などを、行いました。

成長した、生徒たちは、一生懸命、ルールを、守り、全力で、プレーしました。

明るい中庭に

11月1日、中庭のモモタマナの剪定を行いました。校庭のシンボルにもなる木ですが、日差しを遮りすぎていました。ボランティアの保護者と数名の職員とで作業しました。作業後は中庭と職員室内がすっかり明るくなりました。枝葉の廃棄は地域の業者にお願いするなど、保護者、地域の力をお借りしました。あのとうございました。

考えて自信をもって

11月15日、腹話術で有名な講演会を開催しました。講演会に参加した生徒は、笑顔で、拍手をしました。大きな声で、返答をしました。腹話術の、和やかな、雰囲気を、醸し出しました。

中学時代、友達がいなかった、中学時代を、明るく振り返り、友達がいなかった、中学時代を、払拭しようと、明るく振舞うことが、できました。

力し合い、互いを理解しながら助け合って物事に取り組むことが一人でやるのとはまた違った達成感をもたらしてくれることを学んだと思います。学校行事は生徒とその集団を成長させてくれます。

やる気を作り出す

11月14日、3年生を対象にスクールカウンセラー講演会を開催しました。事前に、受験勉強を乗り切るために、役立つお話をしてくれました。まず、集中して勉強するには、精神の体力が必要。体力をつけて粘り強くあることが大切と説きました。そして落ち着いた状態で、やる気を作り出す方法として、体を立てること、やること、終わった後に、ご褒美を考えること、さらに、飽きてきたら場所を変えたり、時間を決めて効果的な休憩を入れることなどが紹介されました。生徒からは「自分なりのリラックス方法をたくさん見つけていきたい」「時間を決めて自分の好きなことをやること」で集中力が良くなるという言葉が寄せられました。

中で人前に出るようになった。目の前にある事を頑張ることで頑張れる自分を作ることが大切。自分で考えたことを信じて実践することが大切。好きなこと興味があることを出発点に将来を切り拓こうと励ましてくれました。生徒らは最後まで楽しそうでした。時間が短く感じる講演会でした。

魅力ある提案を

二学年ＰＢＬ学習発表会

11月26日、二学年生徒が取り組むＰＢＬ学習の最終発表会が行われました。地域内の二企業から提示された、ミッションに対する提案をプレゼンテーションで形式で行うものです。今年度は、ＪＡおきなわ糸満支店の青い海、ＪＡおきなわ糸満支店の二企業のご協力いただきました。

二年生が少人数の班を編成してそれぞれが独自のアイデアを練り上げ、調査、検討を経て練り上げた案を発表しました。シマーシャ本舗のミッションに応えた班は、商品であるシンマーシャのうま味を活かした沖縄そばで販促を狙うとともに、沖縄の郷土料理の人気度アップも目指すと提案しました。

参観した教育委員会のコーディネーターからは、堂々とした発表と内容の充実にお褒めの言葉をいただきながら、「おいし い沖縄そばを売るお店で、そのシマーシャを販売するアイディアがあると更に販売収益が上がりそう」との助言もいただくなど、発表までの活動を基にさらに学びを広げるヒントをいただきました。9月にスタートしたＰＢＬ学習では課題を理解し、自分事として捉え、情報収集して、仲間と協力しながらその解決策を模索し、プレゼンテ

自分を守るために

もはてのルたド委てイ性あなも名ス゜と員学ズ・11るくす前にエ共会びやエ月こ今ぐでよイににま関イ26とでにあっズおよし連ズ日なは発るてと話るたす集のどな症こ発はが運゜る会生のくすと症Ｈな営生こと徒知治る゜すＩさで徒と題会識療も感るＶれス会にし集を方の染病ウまラ保つて会得法でし気ィしイ健いエは

ーションとしてアウトプットする一連を体験することができました。この経験で自分で物事を解決する能力が向上したものと考えます。ご協力いただきました地域の皆様に感謝いたします。

食育授業１年

11月21日一年生を対象に「スポーツと栄養について」と題して給食センターの栄養職員による特設授業が行われました。中学生期の運動の大切さとそれに伴う栄養摂取の必要性を分かりやすく伝えていただきました。「集中力を上げるため朝ごはんは食べようと思った。」「サラダや体にいいものを食べたい。」など、食への意識の高まりがうかがえる生徒のコメントがありました。

R7 生徒会役員選挙

令和７年度の生徒会役員選挙が11月 13 日に告示されました。立候補者は１，２年生の計９名。その中から選出されるの役員は次の通り。

会長１名　副会長２名

11 月 25 日から選挙運動が行われ、12 月 6 日に投開票が行われます。

ることができました。感染予防のために健全な性の知識が大切であること。エイズによる誹謗中傷があってはならないことなど自分と周りの人を守るために大切なことを学びました。